令和3年度 行政評価に係る外部評価意見概要

令和3年8月23日(月)

① 商工業振興事務費

- ・商工会員加入率は決して低くないと思うが、現状に甘えず、さらに広く多くの方に加入していただくための活動が必要だと思う。
- ・講演会は、講演会の開催が目的ではなく、そこに集まり、異業種間交流を図ることが目的、その企画をしっかりとお願いしたい。講演会後の異業種間交流の成果を評価する必要がある。
- ・コロナ後の経済をしっかりと立て直さなければならない。よりいっそう商工会と連携を図り、商工会運営費の補助を引き続きお願いしたい。

② 水田農業構造改革推進事業

- ・飼料用米への作付転換の必要性はよくわかる。しかしながら、米を守っていく事と、優遇措置を講じる事は決して一緒ではない。現在の補助金額でよいのか。補助金を出さなければ米を守れないのか。そこを考えていただきたい。
- ・飼料用米のほか、米粉の活用についても考えていただきたい。
- ・旭市は畜産農家が多く、飼料用米が有効に活用できている。米価のバランスのためにも、飼料用米の推進は大事だと思う。今後、何を守り、何を扱い、何を大切にしていくのか、自給率も考えて、色々な事のバランスを取りながら実施していただきたい。

③ 自治振興事務費

- ・毎年変わる区長に対して、区長ハンドブックを活用しながら、市に協力してくれる市民を研修するといった発想で丁寧な説明会を開催してもらいたい。
- ・コロナ禍や風水害等があり、今後益々と市と市民のつながりが必要となってくるが、市と市民のつながりを作る手段の一つである自治会に関して加入者が増えない状況である。自治会といった市と市民のつながりの手段を見直す必要があるのではないかな。
- ・自治会に勧誘すると断られることがある。防犯灯の電気代、消防費の協力金、こういうものは自治会から繰り入れている。義務という言葉では難しいが、居住する人の義務として協力をお願いしたいと、一言加えることによってつながりができると思う。市から伝えていただきたい。
- ・地域の結びつきが希薄になってきている時代だと思う。その中で区長は、色々とりまとめをして下さり、安心して生活できているといった実感がある。自治会と市の関係、取り組み、自治会は大事だと思う。これからも続けていただきたい。
- ・時節柄、新たに自治会にお誘いすることは難しいかと考えています。これは個人情報の問題となりますが、区長に、引っ越された方の情報をお知らせできれば、お誘いに行きやすのではないかと思います。
- ・回覧板に加えて、市の重要事項をLINEで伝達、そういう時代が目前かと感じている。今のうちから伝達方法の構築を考えないといけないと感じる。
- ・自治会に入らない要因は自治会費の問題もあると思う。自治会費の決め方は旧態依然で、新しく自治会に入る方に理解いただけないこともある。自治会費の決め方に市の関与は難しいと思うが、方針、協力、指導等を考慮いただきたい。